

5 月月例労働経済報告のポイント

一般経済

- 景気は、東日本大震災の影響により、このところ弱い動きとなっている。また、失業率が高水準にあるなど依然として厳しい状況にある。
 - ・ 生産は、東日本大震災の影響により、このところ生産活動が低下している。輸出は、東日本大震災の影響により、このところ減少している。
 - ・ 企業収益は、東日本大震災の影響により、下押しされている。設備投資は、東日本大震災の影響により、このところ弱い動きがみられる。
 - ・ 企業の業況判断は、慎重さがみられる。
 - ・ 雇用情勢は、依然として厳しいものの、持ち直しの動きがみられる。ただし、東日本大震災の影響により、一部に弱い動きもみられる。
 - ・ 個人消費は、東日本大震災の影響により、このところ弱い動きがみられる。
 - ・ 物価の動向を総合してみると、緩やかなデフレ状況にある。
- 先行きについては、当面は東日本大震災の影響から弱い動きが続くと見込まれる。その後、生産活動が回復していくのに伴い、海外経済の改善や各種の政策効果などを背景に、景気が持ち直していくことが期待されるが、電力供給の制約やサプライチェーン立て直しの遅れ、原子力災害及び原油価格上昇の影響等により、景気が下振れするリスクが存在する。また、デフレの影響や、雇用情勢の悪化懸念が依然残っていることにも注意が必要である。

労働経済

- 労働経済面をみると、雇用情勢は、依然として厳しいものの、持ち直しの動きがみられる。ただし、東日本大震災の影響により、一部に弱い動きもみられる。
 - ・ 3月の完全失業率（季節調整値）は4.6%で、前月と同水準。
※ 岩手県、宮城県及び福島県を除く全国値。
 - ・ 就業者数（季節調整値）は5,983万人で、4か月ぶりに前月差で減少（46万人減）。 ※ 岩手県、宮城県及び福島県を除く全国値。
 - ・ 雇用者数（季節調整値）は5,240万人で、4か月ぶりに前月差で減少（58万人減）。 ※ 岩手県、宮城県及び福島県を除く全国値。
 - ・ 有効求人倍率（季節調整値）は、0.63倍（前月差0.01ポイント上昇）。
 - ・ 新規求人倍率（季節調整値）は、0.98倍（前月差0.01ポイント低下）。
 - ・ 現金給与総額（原数値・確報）は275,442円で、前年同月比0.1%減。